

○吹屋周辺地区の景観形成基準

主要眺望地点	
①吹屋資料館前の道路面から1.5mの高さ	②成羽公民館吹屋分館前の道路面から1.5mの高さ
③下谷旧道交差部道路面から1.5mの高さ	④下谷橋中央面から1.5mの高さ
⑤広兼邸楼門前から1.5mの高さ	⑥旧吹屋小学校校舎の正面玄関前から1.5mの高さ

1) 全ての大規模行為(植栽による遮へい措置により、主要眺望地点から望見されないこととなる場合を除く)

事項	基準
位置	主要眺望地点から望見されない位置とすること。
規模	主要眺望地点から望見されない規模とすること。

2) 建築物及び工作物(新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更)

事項	基準
位置	(1)山稜の近傍にあつては、稜線を乱さないよう、尾根からできるだけ低い位置とすること。 (2)主要眺望地点からの見え方を軽減する配置とすること。 (3)広告板等は主要眺望地点から望見されないこと。
規模	高さをできるだけ抑えて、主要眺望地点からの見え方を軽減すること。
形態	主要眺望地点からの見え方に配慮し、全体的に違和感のないまとまった形態とすること。
意匠	(1)主要眺望地点からの見え方に配慮し、全体的にまとまりのある意匠とすること。 (2)外壁又は屋上に設ける設備は、露出させないようにし、建築物本体との調和に配慮した意匠とすること。やむを得ず露出する場合は、壁面と同色の仕上げを施して目立たないようにする等の措置を講ずること。 (3)屋外階段、ベランダ等建築物本体と一体となるものを設ける場合は、建築物本体との調和を図ること。
色彩	(1)主要眺望地点からの見え方に配慮し、周辺の自然や空に溶け込む色彩とすること。 (2)けばけばしい色彩とせず、できるだけ落ち着いた色彩を基調とすること。 (3)屋上工作物の色彩は、建築物本体との調和が図れるものとする。
素材及び材料	(1)主要眺望地点からの見え方に配慮し、反射光のある素材、材料を外部の大部分にわたって使用しないこと。 (2)主要眺望地点からの見え方に配慮し、耐久性、耐候性に優れ、たい色、はく離等が生じにくいものを使用すること。
敷地の緑化	敷地内においては、既存の樹木等についてはできるだけ残すよう努めるとともに、主要眺望地点からの見え方に配慮した緑化に努めること。

3) 土石の採取、鉱物の掘採

事 項	基 準
採取又は掘採の方法	主要眺望地点からの見え方に配慮した土石の採取又は鉱物の掘採の方法とすること。
遮へい	敷地周囲の修景緑化に努めるなど主要眺望地点からの見え方に配慮した遮へい措置を講ずること。
事後措置	採取又は掘採後の法面等は、周辺景観との調和に配慮し、緑化に努めること。

4) 土地の形質の変更、水面の埋立

事 項	基 準
変更後の形状	(1) 極端な形質の変更が行われないように工夫するとともに、変更後の地形が周辺地形と調和が図られるよう配慮すること。
	(2) 土地の区画形質の変更によって、大きな法面・擁壁が生じないように努めること。
	(3) 敷地内の区画割等の形状については、将来、施設が立地した場合においても、周辺景観との調和が図られる形状となるように努めること。
	(4) 水面の埋立てや調整池によってできる護岸は、できるだけ石材等の自然素材、もしくはできるだけこれを模した素材とし、階段、緑化修景等を施し親水性の確保に配慮すること。
敷地の緑化等	(1) 行為地内の木竹は、できるだけ保全に努めるとともに、敷地の周囲には樹木等の植栽により、緑化措置を講じること。
	(2) 道路等の公共施設に面する部分は特に緑化に配慮し、敷地内は、できるだけ緑化に努めること。
	(3) 法面・擁壁を含め、構造物等が生じる場合においては、できるだけ自然素材の活用に努め、これにより難しい場合はこれを模したものとすること。また構造物等の前面には、できるだけ修景緑化等の措置を講じるように努めること。
	(4) 緑化に当たっては、自然植生を考慮するとともに、周辺の樹木との調和が得られる樹種とすること。

5) 木竹の伐採

事 項	基 準
伐採方法	木竹の伐採を行う場合は、主要眺望地点からの見え方に配慮し、択伐方法などにより必要最小限に留めるように努めること。
事後の緑化	伐採を行った場合は、本地区の景観を良好に維持できるように伐採した樹種あるいは周辺の植生を勘案して、代替措置（植栽等）を講じること。

6) 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積

事 項	基 準
堆積の 方 法	積み上げに際しては、できるだけ整然とした堆積とするとともに、主要眺望地点からの見え方に配慮し、積み上げの高さをできるだけ抑えること。
遮へい	敷地周囲及び擁壁等構造物についての修景緑化に努めるなど主要眺望地点からの見え方に配慮した遮へい措置を講ずること。